

ヒナヒゴタイ

学名 *Saussurea japonica* (Thunb.) DC.

目名

目名学名

科名 キク科

科名学名 Compositae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IA(CR)

NO IMAGE

[選定理由]

日本での分布域は狭く、本県の生育地は希で、個体数も少ない。越年草のため、生育環境の変化によって生育状態に著しい消長がみられ、絶滅の危険性が高い。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道域, 石灰岩地域
分布域	九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 台湾
生育環境	低地や丘陵地(石灰岩地)の草地や林縁。
現 状	生育状態に消長がみられ, 生育地が持続しないで散発的に生育する。かつての生育地で生育が持続していない所が多い。
備 考	大陸系遺存植物。